

## 資料 6

### 6 歳の新しい発達の力

#### 1・3次元の形成

##### ① 生活時間の変化と第3の世界

- ・ 日課が規則正しくなってくる。・・・見通しがもてる。  
役割あそび（役割交代）  
ルールのある遊び　・・・3次元形成の楽しい生活的前提であるとともに「転倒に基づく対の発生」を  
教育的人間関係において、もたらす母胎。
- ・ 生活の中で、教えあう姿がみられる。
- ・ 家庭と保育園の2つの世界から、「友だちの家」という第3の世界をもちはじめる。
- ・ 連れ立って行動する。・・・友だちと肩を組む。
  - \* 自制心の舵をもって、家の周囲を航行していた自我が、身近な世界から未来の世界へ遠出をはじめる
  - \* 第3世界で通用するように自制心が鍛えられる。・・・自分の家のことやクラスのことをわかり、できるようになる。
  - \* 友だちと一緒にさまざまなことができる喜びを感じる。

##### ② 3次元の認識

- ・ 自分を中心とした基軸として、中間項をもとに新たな3次元の関係を多面的に力づよく成立していく。  
「アッチ」「コッチ」「ズーット」　　　「右」「左」「真ん中」  
「ココ」「ソコ」「アソコ」　　　「前」「後ろ」「ここ」  
「きのう」「きょう」「あした」　　　「大」「中」「小」
- ・ 3節1単位の活動制御  
タイヤとび・・・「手をついて」「とんで」「立ち直る」  
大なわとび・・・「入って」「とんで」「出る」  
人と向かいあってあやとり  
針を前に糸を通す

##### ③ 厳密な比較と「転倒に基づく対の発生」

- ・ 微細な違いが気になる・・・「正面」「上」「下」を見比べて3次元の比較をする。  
そして「わからないけど、おなじくらい」
  - \* これまでよりも認識の深いところで「同じ」がわかる。
  - \* 最初の比較も厳密になり、理由をとまってくる。
- ・ 語りきかせで、どんでん返しの面白さが、わかるようになる。
- ・ 植物の発芽や開花・動物の変態などもわくわくする。
- ・ 自分の側からだけでなく、向かいあった相手の側についてもわかるようになる。  
相手の左手や右手が、わかる。
- ・ 気持ちを交差させ、理解できはじめる。  
口げんかしてもその後で、仲直りをして相手の気持ちが、分かり合える友だち関係ができはじめる。

#### ④新しい交流の手段の発生

「書き言葉」と「話し言葉」と「造形表現」に変化がみられる。

- ・ 話しことばには、文脈つけようとする力がみられる。

「アノネ、エートネ」「ソレカラ、エートネ」「ドウダッタカナ、ウーン」

わかってもらわなければ困ることをすじみちをつけて伝えようとする。

- ・ 幼い文脈に寄り添ってあげること。
- ・ 描いた絵にも話がはずむ。
- ・ 経験の主人公にして語る力をつかわせることが大切。

「造形表現」

- ・ つくる前につくろうとするものを頭に描く。
- ・ 聞けばつくろうとするものを教えてくれる。
- ・ 3次元の形成という特徴をもって、つくれる。

まえ、よこ、うしろ                      迷路をよく描く

上部、基本部、下部                      カードやカルタづくり

新鮮な体験や感動する話し、素晴らしい絵画作品や音楽にふれると感受性が触発されて、それが表現に反映し、夢をみるなど・・・

「かきことば」は話しことば・造形表現・創作の豊かないとなみの中かしだいに結び織りだされる。

- ・ 個別の経験を出し合い、わかりあうこと
- ・ 共同の目標にむかって、共同の財産づくりをすること
- ・ 新しい体験を通してお互いを多面的に発見し、共通理解が深まること

このような体験を自分たちが主人公になって、役割を交替して演じ、みんなに知ってもらうこと  
感動の体験を通して認識することが文字のもとになる。

#### ⑤「ジブン」の誕生と自己形成視

自分のこと 「自分でする」

- ・ これまで開かなかった世界を自分の前で割り拓いていく。
- ・ 自分を中心にして発達的には、第3次元を形成する。

自信をもち、「モットツヨクナリタイ」「ヤサシクナリタイ」

「カシコクナリタイ」

自分を「まえむき」「よこむき」「うしろむき」に描く

自分を語ろうとする。 「ともだち」を豊富に受け入れる。

自分のこと「自分でする」